

**道の駅「石鳥谷」施設再編
基本構想・基本計画
(概要版)**

令和元年 5 月

花 巻 市

道の駅「石鳥谷」施設再編基本構想・基本計画《概要版》

1. 策定の目的

道の駅「石鳥谷」は、岩手県のほぼ中央に位置し、1993（平成5）年4月22日に県内で第1号の道の駅として登録され、四半世紀が経過しました。

この間、道の駅は全国で1,145駅（2018（平成30）年4月現在）となり、経済・生活、観光振興等の面において、今や私たちの生活に無くてはならない存在となりました。一方で、社会情勢の変化やニーズの多様化や交通ネットワーク整備の進展、インバウンド需要の高まりなど、道の駅「石鳥谷」を含めた道の駅を取り巻く環境は大きく変化しております。また、道の駅「石鳥谷」のハード面の課題・問題点としては、各施設の利用者の減少、国道4号からの視認性の悪さ、道の駅内の施設の回遊性の悪さ、駐車場の不足やトイレの老朽化等が挙げられます。

以上の背景から、道の駅「石鳥谷」の施設の魅力や利便性の向上を図り、交流人口の拡大、賑わいの創出に寄与することを目的とした施設再編の基本方針を定め、施設再編に必要な条件整理を行うため、『道の駅「石鳥谷」施設再編基本構想・基本計画』を策定いたします。

2. 道の駅「石鳥谷」の現状

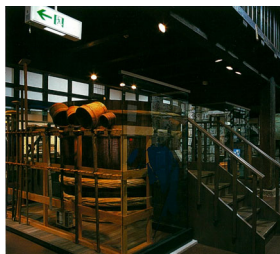
1) 道の駅の概要

- 道の駅及び近隣には、酒匠館（物産館）やりんどう亭（食堂・大食堂）のほか、石鳥谷図書館や石鳥谷生涯学習会館などの地域の主要な施設が集積しています。
- 道の駅内にある南部杜氏伝承館は、実際に使われていた酒蔵を移築して利用しています。

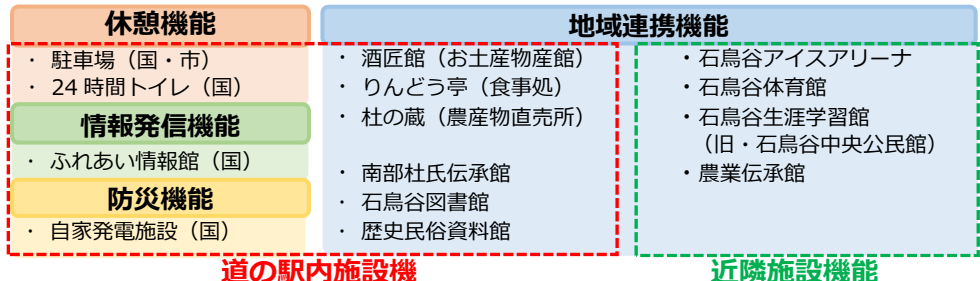
名称	いしどりや 石鳥谷	所在地	岩手県花巻市石鳥谷町中寺林 7-17-3
施設規模	27,000 m ² （道路管理者分：5,500 m ² 、市町村分：21,500 m ² ）		
駐車場規模	小型車 88 台、大型車 19 台、身障者用：4 台		
登録年月	第1回（1993（平成5）年4月）登録		
特徴	南部杜氏の酒の文化と味を楽しむ駅 花巻市石鳥谷町は、日本三大杜氏のひとつ南部杜氏の里として知られており、建物は酒蔵をアレンジした造りで統一しています。 南部杜氏伝承館は、酒蔵として使われていた土蔵を使い、酒造りを等を紹介しています。また酒匠館では酒関連の特産品も扱っています。		



写真：道の駅石鳥谷



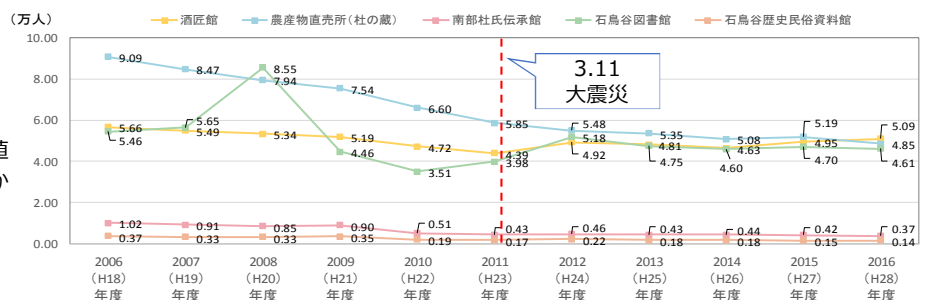
写真：伝承館の酒蔵



2) 入込客数の推移

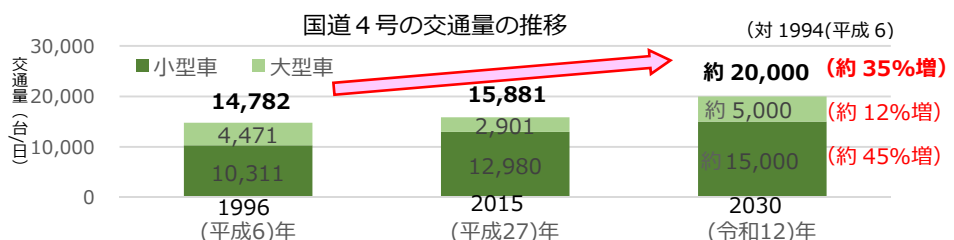
- 道の駅内施設の利用者数は、全体的に減少傾向にあります。

※農産物直売所（杜の蔵）のみ年（1～12月）の値
出典：花巻市統計書（各年度版）ほか



3) 前面道路の交通状況

- 将来にかけて前面交通量は増加する傾向にあります。



※1994（平成6）年・2015（平成27）年：道路交通センサス
2030（令和12）年：国土交通省岩手河川国道事務所算定の将来推計交通量

4) インバウンド拠点としての役割

- ・道の駅から車で約 10 分の距離にいわて花巻空港があり、台湾・上海との定期便が運航されています。
- ・道の駅「石鳥谷」は、2014（平成 26）年 12 月にインバウンドの拠点となる外国人観光案内所として、日本政府観光局(JNTO)カテゴリー 1 ※に認定されています。

※カテゴリー1：常駐でなくとも何らかの方法で英語対応可能。地域の案内を提供。

- ・酒匠館では、日本語、英語、韓国語、中国語による多言語表記を行っています。南部杜氏伝承館の映画『南部杜氏』の外国語版（英語版・中国語版）は、インバウンド観光客から大変好評です。

南部杜氏伝承館入館者数と外国人入館者数の推移

出典：花巻市

区 分	2014(平成26)年度	2015(平成27)年度	2016(平成28)年度	2017(平成29)年度
入館者数（人）	4,399	4,210	3,727	3,800
うち外国人（人）	266	75	401	1,353
外国人の割合	6.0%	1.8%	10.8%	35.6%

3. 現状の問題点

- ①地域振興施設の利用者が減少傾向にある：伝承館展示内容の未更新、りんどう亭大食堂の利活用 等
- ②国道 4 号からの視認性が悪い：植栽や林が視認性の悪さを阻害 等
- ③道の駅内の施設の回遊性が悪い：施設相互間の動線の悪さ、ふれあい情報館が有効活用されていない 等
- ④駐車スペース不足・トイレの老朽化と器数の不足：駐車スペースの不足、トイレ器数の不足 等



①大食堂の利活用少ない



②道の駅への進入動線が分かりにくい



③24 時間トイレ等の位置が悪い（国と市の駐車場を分断している）



④駐車スペースの不足

4. 道の駅を取り巻く社会的動向

- ・道の駅を取り巻く社会動向は、「人口」、「産業」、「観光」、「物流」等多様な分野で大きく変化しました。

- ①人口減少・少子高齢化：人口減少や高齢化の進行により、道の駅においても、「小さな拠点」作りの一助となるような場所の提供・整備が求められています。
- ②産業振興：全国の道の駅では、地元の産品を活用した商品開発を行っている駅も多くあります。「ここにしかないもの」を商品化し集客することが現在求められています。
- ③観光振興：道の駅が観光振興活性化に向けた働きが活発となっています。今後増加する外国人への対応に向け、受入環境の整備が望まれています。
- ④物流の拡大：前面道路である国道 4 号の将来交通量が増加し、大型車も増える予測となっていることから、安全運転確保に向けて、実情に沿った大型車駐車スペースの拡充が求められています。
- ⑤防災への関心の高まり：東日本大震災以降、防災・災害に対する備えの充実が求められています。
- ⑥日本酒の需要増加：海外ニーズを契機とし、日本酒資源の有効活用が求められています。

5. 道の駅再整備の必要性

- ・「道の駅の現状」、「周辺の現状」、「現状の問題点」、「道の駅を取り巻く社会的動向」から、以下の通り再整備の必要性が挙げられます。

・日本酒ブームの中、外国人観光客にも対応できる情報発信機能を確認し、南部杜氏伝承館の利用客数および認知度向上を狙う

・集積している地域の基幹施設同士の利便性、回遊性を高め、利用者の増加をねらう

・地域のコミュニティ形成に寄与する拠点の場が必要

6. 整備コンセプト

・整備コンセプトは以下のとおりです。

「南部杜氏の里」の魅力発信から「ひと」「もの」「情報」を育み、石鳥谷を元気にする道の駅
～日本酒文化の発信と駅内配置の再構築による「いつでも行きたい」交流拠点の形成～

石鳥谷は、日本最大の酒造り集団である南部杜氏伝承の地です。道の駅「石鳥谷」は、日本酒文化の魅力を国内外に発信し、駅内配置を見直すことでより使いやすい施設への再整備を行うとともに、市民や利用者、石鳥谷などの特産品、情報をつなぎ、育みながら「いつでも行きたい」と思えるような交流拠点の形成をめざします。

① 「南部杜氏の里」の魅力発信と、地域の憩い・交流の場の形成

【施策の方向性】

- ①国内外に向けて、日本酒や南部杜氏の里の魅力発信のため、南部杜氏伝承館の展示内容の見直しを行います。また、石鳥谷歴史民俗資料館のあり方を検討します。
- ②くつろげる空間づくりや、食堂機能の大食堂への集約化、酒匠館の間取りの見直し、食堂の充実と販売スペースの充実を図ります。
- ③産直の販売方法や運営方法のあり方を検討します。
- ④花巻や石鳥谷を感じることのできる地場産品を使った郷土料理、日本酒関連商品の提供や、キラーコンテンツの開発を検討します。



プロジェクションマッピングによる紹介
(白鶴日本酒資料館)

② 道の駅への視認性と分かりやすい進入動線の確保

【施策の方向性】

- ①国道4号からの道の駅への視認性を確保します。
- ②道の駅へのサインの充実と、国道4号からの道の駅への出入りがスムーズに行えるよう配慮します。



日本酒展示方法
(伏水酒蔵小路カウンター)

③ 施設機能・配置や動線等の見直しによる利便性・回遊性の向上

【施策の方向性】

- ①多くの来訪者がゆっくりと快適に休憩できるスペースを確保し、休憩機能の充実を図ります。
- ②施設入口、一部建物配置を見直すことにより利便性・回遊性の向上を図ります。



施設内外に設けられた
休憩スペース
(道の駅・富楽里とみやま)

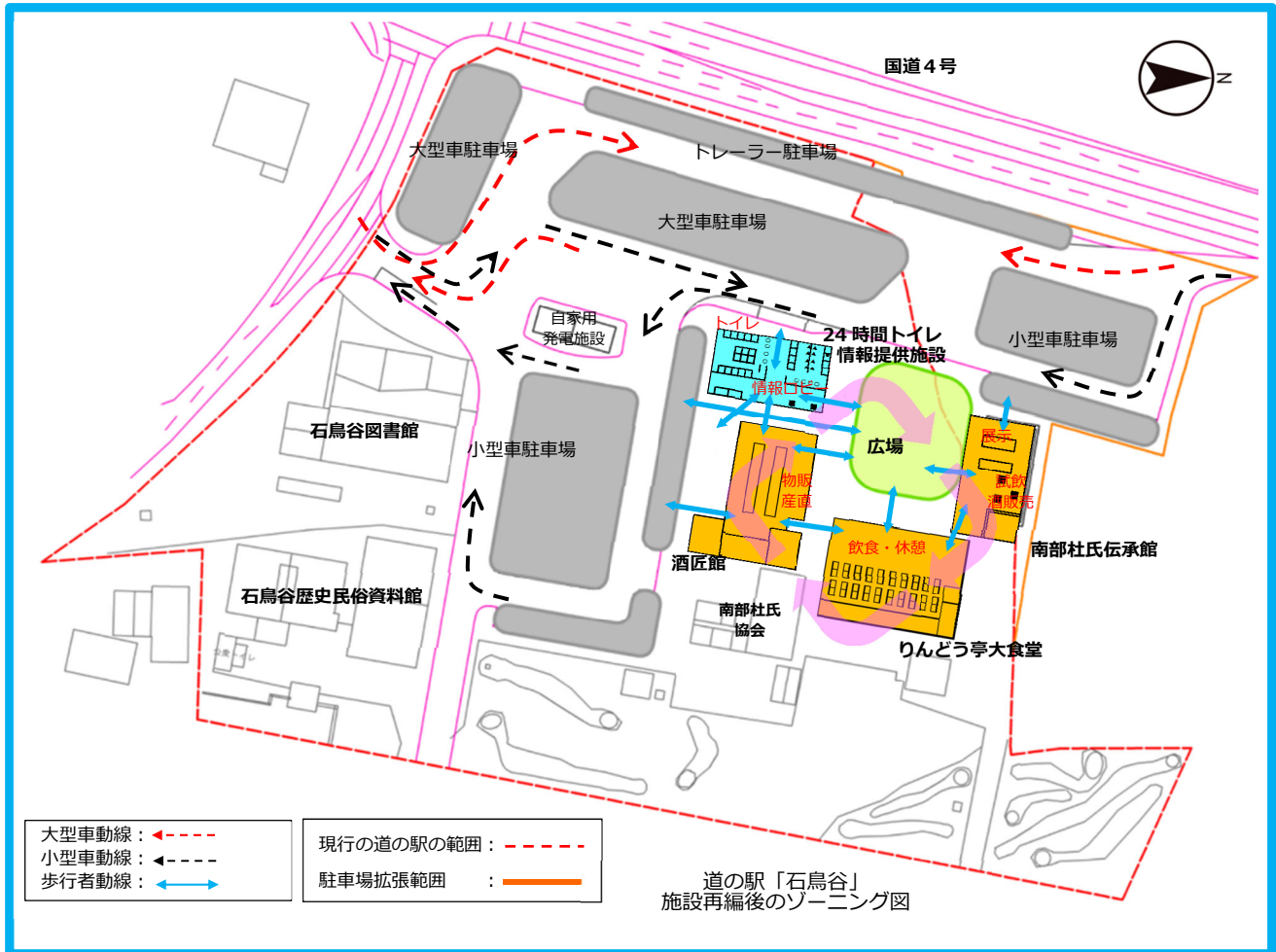
④ 2030(令和12)年将来予測交通量に対応した駐車場の整備・トイレ器数の確保、災害時への対応

【施策の方向性】

- ①24 時間トイレを再整備するとともに、情報提供機能のあり方を見直します。
- ②2030(令和12)年将来予測交通量に対応した駐車場・24 時間トイレの整備とその充実を図ります。
- ③災害時でも使うことができる防災トイレ等の導入を検討します。

7. 施設配置計画

- 道の駅の施設配置について、国道4号からの視認性、駐車場から施設までの距離、安全性、広場の確保の観点から検討を行った結果、トイレ施設を道の駅構内中央に位置させ、西側に駐車場、南部杜氏伝承館をこれまでの位置から北側に曳家し、施設によって囲まれた空間を「広場」として活用します。
- 施設配置については、基本・実施設計段階においても、さらに検討を進めてまいります。



8. 事業スケジュール

- 事業スケジュールは、下記の通りです。

2018 (平成 30)年度	2019 (令和元)年度	2020 (令和 2)年度	2021 (令和 3)年度	2022 (令和 4)年度	2023 (令和 5)年度
基本構想 基本計画					道の駅「石鳥谷」30周年 リニューアルオープン
	測量調査等				
	基本設計	実施設計			
	用地取得				
			整備・改修工事		